

輸出事業計画

※申請者名：株式会社デザートプラン、品目：アイスクリーム

1. 輸出における現状と課題

(現状)

・当社は、お中元やお歳暮などのギフトの販売会社である(株)ヤバケイの製造部門として設立。当社の主力販路である国内のギフト市場は新型コロナウイルス感染症拡大以降は年々縮小傾向にあるため、2022年から“獺祭の酒粕”を用いた“酒アイス”を中国市場で展開したところ予想以上の高い評価を受けたことから、今後は酒アイスや輸出向けの果実アイスなどを商品化し、輸出先国の拡大に取り組みたいと考えている。

(課題)

・当社の加工施設の製造量が限界に達しているため、アイスクリームの海外需要が拡大しているにもかかわらず、輸出拡大に取り組むには厳しい状況にある。今後の輸出拡大にあたっては新しい加工施設の整備、輸出先国の拡大、それに必要なISO22000認証の取得が課題となっている。

2. 輸出事業計画の取組内容

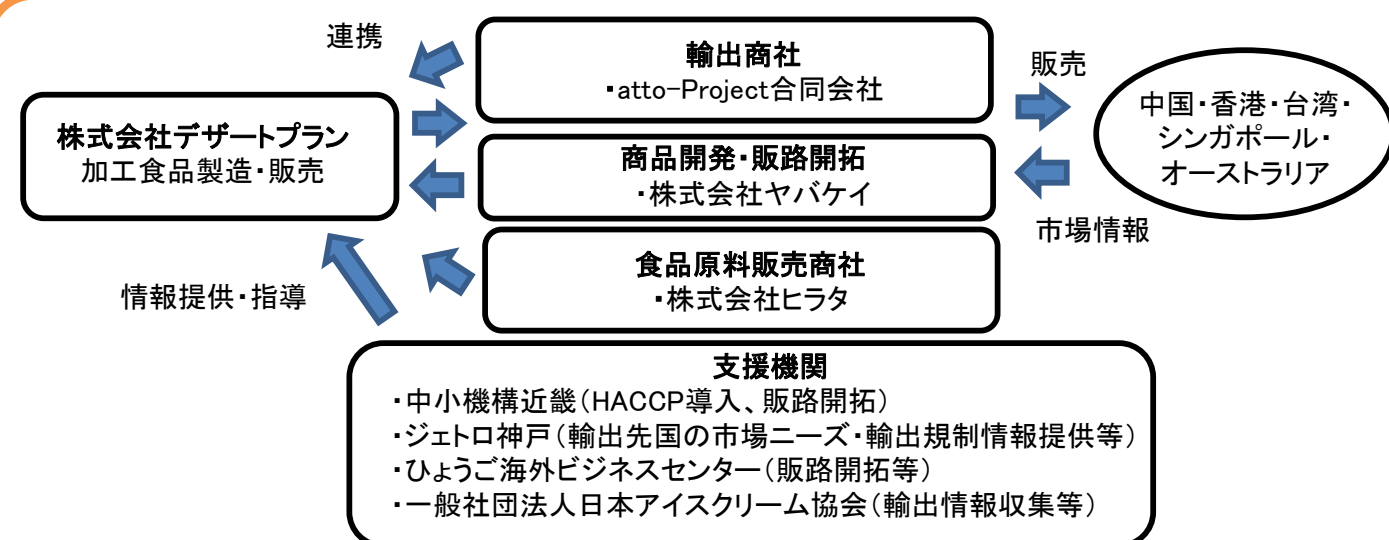
(製品開発・製造)

・2022年よりアイスクリームの海外販売に取り組んでいるが、既存工場は製造量が限界に達しているため、今後の輸出拡大に向けて新たに加工施設の整備・増産機器・設備を導入し、量産体制を確立させる。
・輸出に際し、HACCPサポート機関の指導のもと輸出先国の食品安全基準を満たす安全性の高い加工施設の運用体制を確立させ、国際基準のHACCP認証（ISO22000等）を取得する。
・商品開発では、特に富裕者層の人気の高い、原料に拘った高級アイスを開発し、他社と差別化を図る。

(需要開拓・販売)

・輸出先国をこれまでの中国に加え新たに香港・台湾・シンガポール・オーストラリアに拡大し、百貨店・高級スーパーの他、ホテル・飲食店・通販事業者等の新しい販売チャネルを構築し、市場浸透を図る。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

2022年度実績：輸出額：132,874千円、輸出量：97トン、輸出先国：中国

2029年度目標：輸出額：240,130千円、輸出量：175トン、

輸出先国：中国、香港、台湾、シンガポール、オーストラリア